

令和 5年 12月 総務常任委員会 12月07日ー01号

◆7番（内田昇委員） まずは十六間筋兜の件について、説明資料では26ページです。

この展示ですが、十六間筋兜について展示を予定しているのが特別展ということで6日間、まずは加須市民の日にパストラルかぞの小ホール、ここに1日だけ展示して、また移動する、非常に期間が短いのですが、その1日という、短い理由について伺いたいのですが。

○中島正和委員長 前田生涯学習課長。

◎前田辰男生涯学習課長 特別展のパストラルかぞで行う1日だけの展示についてでございますが、その後、キャッスルきさいで6日間を予定しております、初日は市民の日記念式典がパストラルかぞの小ホールで行われます。小ホールの中で展示するか否かということについては現在検討中なのですが、中は難しいので、廊下とか、市民の日の記念式典に来られる方々が見られる場所で、今検討しております。

その後については、市民の日の式典はその1日で終わりますので、騎西地域に移して、そこで29日まで展示したいと考えております。

パストラルかぞで長く展示できないかということについてなのですが、今回は全国を回ってきて戻ってくるということを記念して、元の場所にある騎西地域で長く展示をしたいという計画をしているところでございます。

○中島正和委員長 内田委員。

◆7番（内田昇委員） 1日っていうことにこだわるわけではないのですが、貴重な文化遺産なわけですが、ここに補正予算の積算っていうところで、全てで138万9,000円と、非常に貴重な文化遺産にしては少ないという印象なのです。1日飾って動かすという、例えば被害に遭うとか盗難に遭うとか、いろいろなことが考えられるわけですが、この予算の特に運送会社さんの選定とか警備とか今後の保管とか、展示の方法も、ただ置いておくのか、そういうことについて伺います。

○中島正和委員長 前田生涯学習課長。

◎前田辰男生涯学習課長 特別展における貴重なこのかぶとの安全管理につきましては、まずはパストラルかぞの中で行う初日については、生涯学習課の職員がパストラルにおりますので、管理をしながら盗難等、あるいは事故等ないように適切に見守っていきたいと考えております。

輸送につきましては、積算させていただいておりますように、文化財等美術品を扱う専門業者に委託をして運んでもらう予定でございますが、仮に壊れてしまった場合については、修復していただく保険についてもこの費用の中に入っております。

騎西地域に移して展示をする際には、今回に限ってはですけれども、今考えている中では、キャッスルきさいの2階の視聴覚室で展示を行う予定です。こちらは鍵がかかる部屋でございます、キャッスルきさいの中には職員もいますので、そういった人の管理等についても併せて安全管理を図るような形で展示をしていくような計画をしているところでございます。

○中島正和委員長 内田委員。

◆7番（内田昇委員） あまり貴重なものを扱うという姿勢が受け取れません。国立博物館とか、そういうところの展示に値するような加須の文化遺産なわけですね。例えば湿気の多いところに置いてよりさびてしまったりとか、あと先ほども言ったような、もちろん部屋に鍵はかかりますが、もう少し厳重な扱いをしてほしいと、見直していただきたいと思います。展示、クリアファイル、のぼり旗、横断幕、全てで138万9,000円というのは予算面でも非常に少ないと思いますので、検討していただきたいと思います。

○中島正和委員長 前田生涯学習課長。

◎前田辰男生涯学習課長 今後の保管展示のあり方につきましては、現在検討しているところでございます。

◆7番（内田昇委員） ぜひとも前向きによろしくお願いします。

2点目でございますが、説明資料5ページ。

加須市の経営革新支援補助金の予算の増額とあります。

まず、この補正予算の積算でございますが、創業して5年以上、お店なり事業なりを始めて5年以上の人が対象として、初めてこういう予算をつけていただいたと、非常にいいことだと思います。10件という当初の想定、そして1件当たり50万円という積算の根拠というのはどういうところか教えてください。

○中島正和委員長 橋本産業振興課長。

◎橋本敬之産業振興課長 当初予算の積算の関係ですが、10件につきましては、これまでの埼玉県の創業支援ではなく、経営革新計画の承認の数から10件ということで、加須市内の10件ということを出したとしました。

50万円につきましては、やはり一番最初のこういった新制度ということがありますので、これまでも事業をやっているところから商工会に確認しながら、50万で1件当たりで算出したのですが、実際蓋を開けてみたらというか、申請を受けてみたらそれよりも多いような金額、資料にもありますとおり、61万5,000円というところが出ていますので、そこから積算しております。

以上です。

○中島正和委員長 内田委員。

◆7番（内田昇委員） 決算の見込みということで、恐らく増えるのではないかと、最初10件を想定して10月時点で8件、非常にいいことだと思います。それを18件にしたと、平均の見込みも上げていただきました。

私としては、頂けるといえるのは非常にありがたいことというのを前提として、今、物価がかなり上がっていて、光熱費、燃料費、材料費、全て上がっているわけです。特に創業5年ってというのは、コロナの初めの頃に創業して、5年間耐え忍んだ商店や事業所なのです。これからやっと思ふ存分商売ができるという時点ですので、例えば50万円といいますと看板すら作れないような金額、経営の中では非常に低い値になるわけなのです。

したがって、次回でも結構ですけれども、これも増額して、ある程度100万とか200万、最低でもそのくらいに上げていただければと希望します。

○中島正和委員長 橋本産業振興課長。

◎橋本敬之産業振興課長 こちら、事業計画の実行に必要な経費の2分の1の上限100万円というところで制度設計をしてありますので、50万だから50万ではなく、その場合は2分の1ですから100万円の補助対象事業ということでやっておりますので。それを今回いろいろ商工会に事前に相談してあるものを試算してまして、今度は決算見込みでは75万円ということで、見込金額を設定しております。

以上です。

○中島正和委員長 内田委員。

◆7番（内田昇委員） 分かりました。

いずれにしても、町のにぎわいや子育てなど、そういうしやすさというのは、そこに多くの個店というか、そういうのが軒を連ねているという状態というのは非常に魅力があるわけなのです。大きなショッピングセンターをどんと構えるというのも一つですが、そういう意味では、手厚い保護と支援をお願いします。

続きまして、水深幼稚園の件につきまして、説明資料の 25 ページですけれども、先日、水深幼稚園を廃園して統合するようなお話があったと。それについては、園を存続するということは非常にいい方向だと思います。

廃園するような議論があったところに駐車場が必要だというのは矛盾していると思うのですが、その辺はどういう理由で増設するのかお伺いしたいと思います。

○中島正和委員長 関口こども保育課長。

◎関口久美子こども保育課長 水深幼稚園は、これまで子どもの数が少なかったから休園という考えではございません。3 歳児保育を実施するには、水深幼稚園は部屋の数が少なかったため、3 歳児のときは花崎北幼稚園で保育をしていました。一方、花崎北幼稚園は教室数が多かったのです。それで、水深幼稚園の園児と一緒に花崎北幼稚園で保育をするという計画を当初立てたのですけれども、水深幼稚園を残してほしいという保護者の思い、お声を受けまして、再度検討した結果、水深幼稚園を休園しない、運営するという決定となりました。

そして、水深幼稚園について検討していく中で、保護者の方から駐車場が少ないと、大変困っているというお声を受けました。そこで早速、2 学期以降だったのですけれども、朝と昼に何度も見に行った結果、駐車場の増設が必要だろうと判断いたしまして、今回、水深幼稚園の駐車場を増設することにいたしました。

○中島正和委員長 内田委員。

◆7 番（内田昇委員） そういうニーズに応えるというのは、いい姿勢だと思います。

当初、教室が少ないということに関しては、駐車場より優先すべきだと思うのですが、その辺は解決されているのですか。

○中島正和委員長 関口こども保育課長。

◎関口久美子こども保育課長 来年度教室数は足りることになりました。

現在、水深幼稚園は5歳児の人数が多く2クラスの運営となっております。そのため、教室が3か所あるのですけれども、5歳児が2つの教室、4歳児が1つの教室ということで全部の教室を使っておりますが、来年度、現在の4歳児が5歳児に上がるのですが、1クラスであるために、来年度、3歳児、4歳児、5歳児で1クラスずつ運営することができて、教室が3クラスで運用することができます。

○中島正和委員長 内田委員。

◆7番（内田昇委員） 来年については何とかクリアできると。ただし、水深地区っていうのは、住宅もご覧のように増えていますし、みんな子育て世代ですので、そういう対応について、見通しについてもお考えですか。

○中島正和委員長 関口こども保育課長。

◎関口久美子こども保育課長 こども保育課で今後の水深の児童数を推計しております。そして、保育園に通いたいお子さん、幼稚園に通いたいお子さんという保護者の希望がございますので、おおよその就園率を想定しまして計算をしたところ、3教室で足りると推計しております。

○中島正和委員長 内田委員。

◆7番（内田昇委員） 分かりました。

今後の加須市を担う子どもたちですので、しっかりと対応していただきたいと思います。

以上で質問を終わります。